

令和 5 年度の学校評価

(学校自己評価、学校関係者評価)

2 0 2 3 年 4 月～2 0 2 4 年 3 月

(令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月)

1. 学校の教育目標

本校は教育基本法及び学校教育法に従い、商業実務、工業高等課程及び工業専門課程を設置し、その下で商業実務、情報処理、自動車整備、工業に関する職業、実生活に必要な能力の育成、教育の向上を図ることを目的とする。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことは必要な目標や計画

① 本校独自の「キャリア教育」の更なる質の向上。

本校で力を入れている「キャリア教育」がある。基本的な生活規則や倫理観はもちろんのこと卒業後の意識や意思決定に力を入れているが、早期における進路決定に向けた意識づけに関しても力を入れたい。今年度は昨年に引き続き2年生の「夏期職業体験」を実施することができた。また、外部の合同説明会への参加を積極的に進め十数名の生徒が参加することができた。次年度以降は職業体験や外部の進路説明会への推奨を引き続き実施するとともに、本校で実施しているキャリア教育や進路説明会のさらなる改善を行い、多くの生徒のキャリア形成につなげたい。

② 多様な入学生への対応力

グロースコース設立以降、入学生の多様化によりそれに対応できる生徒指導が求められる。本年度より生徒支援部を立ち上げ、ケース会議や支援が必要な生徒へ対応するための研修などを実施した。また、個別の支援計画作成の体系化にも取り組んだ。来年度は、自動車工業科と情報グロースコースに変更してから入学した生徒が、卒業する年度となるため、進路指導部と生徒支援部が協力し、進路指導を進めていく。

3. 学校評価（学校自己評価。学校関係者評価）

《学校関係者評価委員》

- | | |
|-------------|-----|
| ○ 在校生保護者 | 6 名 |
| ○ 卒業生 | 5 名 |
| ○ 関係企業 | 7 名 |
| ○ 中学校、地域住民等 | 2 名 |

※評価の基準 5：よくあてはまる 4：あてはまる 3：ややあてはまる
 2：あまりあてはまらない 1：まったくあてはまらない

(1) 教育理念

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
本校の理念や目標は、現代社会のニーズに即したものとなっているか	4	4
適切な組織体制の下、運営を行っているか	4	4
豊かな個性を持った子供たちを受け入れ、一つでも多くの技能を習得させることを教育の目的としていることは学校ホームページでも公開している。また、専門教育においても、その専門の技能・知識だけでなく、その専門授業を通して仕事のあり方や社会人として求められる資質などをキャリア教育で指導している。 令和4年度より学科コースを社会のニーズに合わせ、自動車工業科、総合商業科（トータルビューティーコース、ドッグケアコース、情報グロースコース）の4つに見直した。本年度は生徒支援部を新設し、支援が必要な生徒への対応を強化した。来年度以降も生徒支援部を中心に充実した支援ができるように組織体制を構築していく。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 支援が必要な生徒も入学しており、年々変化するニーズに対応しているといえる。		

(2) 学校運営

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
適切な組織体制の下、運営を行っているか	4	4
教育活動に関する情報公開が適切に行われているか	4	4
各部署に仕事の割り振りを行い、学期ごとの打ち合わせ等で運営方針、事業計画に沿っているかの確認し、仕事内容を精査したうえで内規に合わせながら実情に合ったものに改善している。本年度は生徒支援部を新設し、支援が必要な生徒に対応できるように組織体制を改善した。来年度は進路指導部と生徒支援部の協力体制を構築していきたい。 学校ホームページにおいて学校行事などの様子、いじめ防止マニュアル、学校評価などを公開している。また、今年度学校ホームページをリニューアルすることができた。日々の情報発信において課題は残っているが、今後SNSでの情報発信も含め検討し、改善に努めたい 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 普段の授業内容などを知ることができるツールがあればいいと思う。		

(3) 学習指導（教育活動）

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
生徒の基礎学力向上と「よくわかる授業」の実践	4	4
学校評価委員会を設置し、企業、保護者、卒業生の意見を取り入れて、キャリア授業などに反映させている。 基礎学力向上においては成果を振り返り手法を変えて実践している。本年度においては昨年度実施したグループ学習を、さらに改善し実施した。また、基礎学習においては百ます計算を取り入れるなど、生徒の実情に合わせ改善している。来年度にはコグトレを基礎学習の一環として実施していきたい。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 職業体験では、生徒が良い経験をできていると思うので、継続すべきである。		

(4) 生徒指導

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
生徒の安全管理のための取り組みが行われているか	4	4
生徒指導に関する対応、処置は適切であるか	4	4
登下校指導を実施し、警察などとも連携をとり指導を行っている。 交通安全講習会を実施して生徒への交通マナーや法規の遵守を指導している。 防災訓練を実施し、災害時の備蓄について点検と整理を実施した。 本年度においては昨年度に引き続き、生徒指導事案に対して一律に処分等を出すのではなく、生徒個々に対して効果的な指導を話し合い、指導に当たった。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 通学路に歩道が少なく、登下校時の生徒が危険に感じる。引き続き指導を徹底してもらいたい。		

(5) 進路指導

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
進路指導にかかる支援体制は整備されているか	4	4
生徒の能力・適性に合った進路を見つけられるための指導をするにあたり、各教員の統一の見解と情報共有が必要である。今年度はグロースコースを開設してから2年目の生徒が卒業する年度であり、今年度新設した生徒支援部と進路指導部での連携についていくつかの改善点があった。来年度以降は、進路指導部と生徒支援部の役割分担や協力体制を構築し、進路の支援体制の強化に努める。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 支援が必要な生徒に対する進路指導は今後の課題だと思われる。状況に合わせて改善してもらいたい。		

(6) 特別活動等

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
本校におけるクラブ等の特別活動は適切に行われているか	4	4
保護者会等と連携した活動を推進しているか	4	4
現時点で野球部、少林寺拳法部、自動車研究部、軽音楽部がある。そのほかにも同好会としてもものづくりやウエイトトレーニング、園芸といった内容で活動している。野球部においては、合同練習や練習試合なども実施し活動の充実化を図った。また、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことにより、校外学習や学園祭、修学旅行なども通常通り実施することができた。 保護者会に関しては、昨年度より保護者のつどいという案内のもと、学校生活や学習面、進路など様々な悩みを抱える保護者に集ってもらい、研修や保護者同士で対話などの活動を行っている。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。		

(7) 生活相談

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
不登校生徒への対応	4	4
学校生活が困難、もしくは不安を抱えた生徒への対応	4	4
本年度より、支援に対する組織体制の構築が急務であると考え、生徒支援部を立ち上げた。生徒支援部では担任と協力し、支援が必要な生徒への対応方法などについてケース会議を行った。また、ケース会議や研修なども行い、生徒対応を全体的に強化することができた。その中で、生徒指導部との協力体制構築などの課題もあり、今後改善に努めたい。 【学校関係者評価総評】 この項目についての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 生徒一人一人へしっかりと対応している。今後も個々の生徒の問題に合わせ、対応してもらいたい。		

(8) 教育環境

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
施設・設備の教育体制は充実したものとなっているか	4	4
校内外の実習等、十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に関する体制は整備されているか	4	5
工事等は、長期休暇などを利用し、学習への影響がないように実施していく。 本年度も昨年度に引き続き、職業体験を実施することができた。多くの企業に協力してもらうことができ、充実した内容であった。来年度も引き続き実施するとともに、校外での学習の機会を増やしていきたい。 校内の設備としては、工事で更地になったスペースを利用し、フォークリフトの実習ができるスペースを確保でき、年度末には講習会を実施することができた。 災害時に備え、食料や水などを生徒の人数分は備蓄している。また、本年度も避難訓練を実施した。 【学校関係者評価総評】 この項目についての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。		

(9) 生徒の受け入れ募集

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
生徒募集活動は適正に行われているか	4	4
生徒募集において教育成果は適切に伝えられているか	4	4
学納金は妥当なものとなっているか	5	5
生徒募集においては、生徒募集を主業務とした教員を配置することにより、適正かつ情報発信も適切に行われているといえる。また、ホームページをリニューアルした。その中で、更新頻度や SNS の利用など、改善の余地があると考えられる。 学納金については、適正であると言える。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。 学費の負担が抑えられていることは、非常に評価できることである。		

(10) 財務

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
中長期的に学校の財政基盤は安定しているものといえるか	4	4
予算、収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	4	4
財務について会計監査は適切に行われているか	5	5
財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
収支バランスに問題はないが、15歳人口の減少傾向を考えながら今後の事業展開を考える必要がある。 財務について、公認会計士による監査を実施している。 財務に関する情報をホームページにて公開している。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。		

(11) 法令遵守

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
法令、専修学校設置基準を遵守して適切な運営が行われているか	4	4
個人情報に関して、その保護のための対策が取られているか	4	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
一般法令はもとより、学校運営において遵守すべき各種法令、専修学校設置基準、学則等を遵守して運営を行っている。全教員が法令順守を意識し、これに抵触する可能性を確認した場合は上長に連絡・相談することを徹底する。 個人情報の取り扱いについて、生徒・保護者に対して利用目的を明示し承諾を得ており、それにより得た情報は厳重に管理している。 自己評価は毎年実施しているが、実施以来同じ方法で実施しており、本校にあう評価方法に改善していきたい。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。		

(12) 社会貢献、地域貢献

評 価 項 目	自己 評価	関係者 評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか	4	4
生徒のボランティア活動を推奨、支援しているか	4	4
地域のスポーツ少年団や体育協会加盟団体の要望に応え、体育館等の利用を許可し、青少年育成活動に協力している。 ドッグケアコースの教材犬として、地域住民を含めた一般の方々から犬をお預かりして、無料でトリミングをしている。 本年度は昨年度に引き続き、例年行っている保護者や生徒たちと共に、通学路清掃を実施した。 本年度は令和 3 年度から岸和田市が実施するガーデニングショウに生徒たちが育てた花を飾り付けて、東岸和田駅前に作品を展示した。 【学校関係者評価総評】 この項目においての評価や課題の抽出、改善方策は適切である。		

令和5年度の評価アンケート集計 生徒・保護者対象

1 そうおも う 2 ややそう思う 3 あまりそう思わない 4 そう思わない 5 わからない [%]

	ア ン ケ ー ト 項 目	1	2	3	4	5
1	学校の理念、目的について理解している。	46	43	6	0	6
2	学校の規則について理解している。	50	41	6	0	3
3	教育活動等に関する情報公開は適切に行われている。	46	41	6	0	7
4	クラブ活動、校外学習等の課外活動は充実している。	40	38	9	1	12
5	学校の施設、設備、防災設備は十分に整っている。	35	35	10	1	18
6	生徒の健康面や安全面における指導は、適切になされている。	56	35	3	1	4
7	学校への相談窓口は明確で、適切な対応が行われている。	60	26	6	0	7
8	本校の生徒指導に関する対応・処置は適切であり、納得している。	56	35	6	1	1
9	教員は保護者と適度に連絡を取り、家庭と適切な連携を取っている。	66	29	1	1	1
10	本校在学中の、経済的負担は低く抑えられている。	63	28	7	0	1
11	進学・就職に関する説明はわかりやすく、指導も充実している。	47	37	4	0	12
12	担任は、生徒のことを十分に理解している。	66	32	1	0	0
13	学業・各種手続きにおける、教員の説明は適切になされている。	57	37	3	0	3
14	担任は、生徒に対し適切な対応を行い、良い信頼関係を築いている。	68	29	3	0	0
15	資格取得への斡旋や資格講習会は充実している。	60	31	1	1	6
16	教育内容は、将来的に役立つものとなっている。	50	40	3	0	7
17	教育カリキュラム(時間割等)は適切である。	46	40	3	0	12
18	専門の授業における施設・設備は充実している。	53	35	3	0	9
19	専門の授業内容は充実し、わかりやすく展開されている。	50	37	0	1	12
20	授業レベル・学習量は適切である。	49	34	9	0	9
21	教員は、一人ひとりの学習状況を把握している。	49	31	4	1	15
22	授業における教員の説明はわかりやすく、言葉は明瞭で聞き取りやすい。	43	37	3	1	16
23	教員は、生徒の質問に対して適切に対応していた。	57	26	1	1	13
24	総合的に、授業は満足できるものである。	47	34	7	0	12
25	本校に入学させて「よかった」と思う。	71	28	0	0	1